２０２５年３月１７日

２社の「ＳＤＧｓ宣言」策定を支援

～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取　長堀　和正）では、取引先２社の「ＳＤＧｓ宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、２０２１年１０月より、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのＳＤＧｓコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「ＳＤＧｓ宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

≪「ＳＤＧｓ宣言」策定企業≫

（１）　ギノウス　株式会社
（２）　フレイト商事　有限会社

以　上

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部　コンサルティング営業室　細川 朝之
TEL（048）641 - 6111（代）

≪ＳＤＧｓ宣言策定企業の概要≫（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企　業　名	ギノウス　株式会社	フレイト商事　有限会社
代　表　者	代表取締役　川﨑　浩司	代表取締役　北田　幸久
所　在　地	埼玉県入間郡三芳町上富２０４１	埼玉県所沢市緑町２－１４－１－３０６
業種および事業内容	商業施設における ・左官工事 ・タイル・レンガ・ブロック工事 ・石工事 ・防水工事 ・金属工事	・一般貨物自動車運送業 （青果・冷蔵・冷凍食品等の運送）
設　立	１９６２年１２月１７日	２００３年６月６日
宣言内容	・『人が喜ぶ会社』を目指し、より良い社会の実現に貢献する ・環境や社会にやさしい建設業を目指す ・地域貢献活動を通じて持続可能な社会を実現していく	・これからも、地域の食の物流を支えていく ・誰もが活躍できる制度を導入し、ダイバーシティ経営を実践する ・環境、顧客にやさしい物流サービスを提供していく ・地域貢献のために新しいことにチャレンジしていく

2025年2月14日

ギノウス株式会社　SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役　川﨑　浩司

SDGsの達成に向けた取り組み

『人が喜ぶ会社』を目指し、より良い社会の実現に貢献する

○当社は三芳町を拠点として、1962年の創業以来60年以上にわたり左官工事業等を行っており、『お客様の想いを形にし、社会に価値をもたらす』『お客様との強い絆を大切にし、信頼に応える』をミッションとして事業を行ってきました。
○今後も、企業理念である『人が喜ぶ会社』実現を追及することを通じて、様々な社会課題の解決にも貢献していきます。
○そのため、社員の誰もが働きがいのある職場を目指すため、様々な職場環境の改善、働きがい向上に関する制度の導入を実施していきます。具体的には、研修室の拡充、社員食堂（早朝から営業、オーガニック食材使用）の整備、他を順次行っていきます。
○また、外国人を含めて積極的な新規採用を予定していることから、業務マニュアルを充実させていくほか、社員の資格取得を応援していくことに加え、外国人へのマナー教育や日本語教育にも力を入れて行きます。

【指標】

社員が喜ぶ仕組みづくり	⇒	**2030年　累計5件**
日本語検定試験（N３）合格者割合　2024年　0%	⇒	**2030年　90%（+90%）**
左官技能士試験合格者割合　2024年　1級 0%/2級 10%	⇒	**2030年　1級 30%/2級 70%**
PDCA社内試験合格者割合　2024年　0%	⇒	**2030年　90%（+90%）**
業務マニュアルの整備　2024年　作成率20%	⇒	**2030年　作成率100%（+80%）**

環境や社会にやさしい建設業を目指す

○建設業の責任として、各種の環境に配慮した取り組み（水質汚染ゼロ活動、環境配慮型車両への入れ替え、省エネルギーに向けた社内の取り組み、産業廃棄物の削減、他）の実施により、会社全体でのCO_2排出量の削減や環境保全の取り組みを行っていきます。
○業務の効率化や電子化をさらに進め、ペーパーレス化や事業系ゴミの削減を進めていきます。
○多発する災害へ備えるため、BCP（事業継続計画）を作成し、その実効性を高めるとともに、社員の安全対策も実施していきます。

【指標】

廃棄物の削減、分別、排水の浄化、リサイクルの徹底	⇒	**2030年　累計8項目実施**
会社全体でのCO_2排出量削減に向けた取り組みの数	⇒	**2030年　累計8項目実施**
社有車の環境配慮型車両の比率　2024年　80%	⇒	**2030年　100%（+20%）**
社員のエコバック使用率　2024年　10%	⇒	**2030年　90%（+80%）**
コピー用紙使用量の削減　2024年　150,000枚/年	⇒	**2030年　30,000枚（△80%）**

地域貢献活動を通じて持続可能な社会を実現していく

○今後、業務の拡大を予定していることから、日常お世話になっている地域への貢献として、積極的な新規採用を行っていきます。
○また、現在行っているボランティア活動（神明社（三芳町）の維持管理、清掃活動）に加え、今後も様々な地域貢献活動を行っていきます。

【指標】

地域からの新規採用数　2024年　社員100名	⇒	**2030年　社員150名（+50名）**
地域貢献活動の種類　2024年　1種類	⇒	**2030年　４種類（+3種類）**

2025年2月14日

フレイト商事有限会社　SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役　北田　幸久

SDGsの達成に向けた取り組み

これからも、地域の食の物流を支えていく

・当社は食料品を取り扱う物流会社として「安心・安全・信頼」をモットーに、正確・丁寧に食品をお届けすることにより、お客様から多くの信頼をいただいています。
・トラック全車に導入済みのデジタルタコグラフを活用し、「エコドライブ」と「安全運転」を推進していきます。
・ドライバーへは、講習会での技術指導に加え、事故事例の共有や勉強会を通じて、交通ルールを遵守し、確かな運転技術を持つ物流会社を目指していきます。
・また、従業員の健康が第一であることから、日々の体調管理や定期的な健康診断により、従業員の健康への配慮を行っています。

【指標】 **2024年　交通安全･運転技術の講習実施回数　10回/年**
⇒　2030年　20回/年（＋10回/年）

誰もが活躍できる制度を導入し、ダイバーシティ経営を実践する

・事業の拡大を計画していることから、これからも女性を含めた地域人材を積極的に採用していきます。
・働きがいを高める制度を充実させ（新しい休暇制度、福利厚生、社内レク、他）更に従業員が幸せな会社を目指します。
・これらをはじめとした取組みにより、ダイバーシティ経営を実践していきます。

【指標】 **2030年　働きがいのある職場や多様な働き方に関する仕組みや制度の導入数　5件**
2030年　地域人材の新規採用数　累計9名（うち、女性従業員4名）

環境、顧客にやさしい物流サービスを提供していく

・所有する配送トラックについては、順次環境配慮型のトラックに入れ替えを行っていきます。
・冷凍機のシーズンイン点検を実施することで食品ロスを削減していきます。
・ドライバーへは、省エネ運転の講習やミーティングを定期的に実施し、環境にやさしい物流サービスの提供を行っていきます。

【指標】 **2024年　社有車の環境配慮型車両の比率　50%　⇒　2030年　100%（＋50%）**

地域貢献のために新しいことにチャレンジしていく

・地域貢献のため、今後も交通安全推進ポスターへの協賛を行っていきます。
・食料品を取り扱う物流会社として、これからもアレルギーのある子供たちにアレルギー対応ケーキの無料配送を行っていきます。
・パートナーである地域の同業者の数を増やしていき、お客様とより関係を深め、地域の食に貢献することで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【指標】 **2024年　地域貢献への取り組み数　2件　⇒　2030年　7件（＋5件）**